

(対象期間：2020/6/29～2020/7/3)

【株式市場】ジャカルタ総合指数の推移
(2016年1月4日～2020年7月3日)

【株式市場】

1日、新型コロナウイルスの感染拡大を受けて、これまで6月5日から7月2日までを移行期間とし、一部緩和する予定だった大規模社会制限を7月16日まで延長する方針を示しましたが、市場への影響は限定的でした。2日、海外市場が堅調となる中で、世界銀行によるインドネシアの高・中所得国への格上げのニュースを受け、投資家センチメントが改善し、インドネシア株式市場は上昇しました。3日も続伸し、週間では上昇しました。

2020/6/26	2020/7/3	変化率
4,904.09	4,973.79	+1.42%

【債券市場】インドネシア自国通貨建て10年国債利回りの推移
(2016年1月1日～2020年7月3日)

【債券市場】

6月29日、財務省は、インドネシア中央銀行（BI）による政府の財政支出拡大支援策として、新たな国債購入計画を発表しました。1日に発表された6月の消費者物価指数（CPI）は前年同月比+1.96%とBIのインフレ目標値の下限を下回りましたが、市場への影響は限定的でした。BIの国債購入の拡大となる新制度に対する不透明感や中央銀行の独立性への懸念などを背景に、週を通じて上値の重い展開となり、週間では下落（利回りは上昇）しました。

2020/6/26	2020/7/3	変化幅
7.194	7.222	+0.028

【為替市場】インドネシアルピアの対円レートの推移
(2016年1月1日～2020年7月3日)

【為替市場】

財務省のインドネシア中央銀行の財政支出負担の発表を受けて、財政ファイナンスへの懸念から、インドネシア国債の格下げリスクが意識されたことや、株式市場からの持続的な外国人投資家の資金流出、国内での1日当たりの新規感染者数が過去最多となったことなどを背景に投資家センチメントが悪化し、対米ドル、対円ともに週間で下落しました。また、アジア通貨の中で最も下落しました。

2020/6/26	2020/7/3	変化率
0.7488	0.7402	-1.15%

出所：グラフおよび表はBloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

<当資料に関してご留意いただきたい事項> ※当資料は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社が、情報提供を目的として作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。また、特定の金融商品の勧誘・販売等を目的とした販売用資料ではありません。※当資料は、信頼できると判断された情報等をもとに作成していますが、必ずしもその正確性、完全性を保証するものではありません。※当資料の内容は作成日時点のものであり、当社の見解および予想に基づく将来の見通しが含まれることがありますが、将来予告なく変更されることがあります。また、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。※当資料で使用しているグラフ、パフォーマンス等は参考データをご提供する目的で作成したものです。数値等の内容は過去の実績や将来の予測を示したものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。※当資料では、個別企業に言及することがありますが、当該企業の株式について組入の保証や売買の推奨をするものではありません。※当社による事前の書面による同意無く、当資料の全部またはその一部を複製・転用並びに配布することはご遠慮ください。

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第379号／加入協会 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

英国ブルーデンシャル社は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社の最終親会社です。最終親会社およびそのグループ会社は主に米国で事業を展開しているブルーデンシャル・ファイナンシャル社、および英国のM&G社の子会社であるブルーデンシャル・アシアランス社とは関係がありません。